Unified Manager仮想アプライアンスのアップグレードワークフロー

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/install-vapp/task_upgrade_unified_manager_vapp.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Unified Manager仮想アプライアンスのアップグレードワークフロー 1
Active IQ Unified Manager のアップグレード 1
Active IQ Unified Manager のバージョンに対してサポートされているアップグレードパスを使用してください 1
Active IQ Unified Manager アップグレードファイルのダウンロード 2
Active IQ Unified Manager 仮想アプライアンスのアップグレード 2

Unified Manager仮想アプライアンスのアップグレードワークフロー

Active IQ Unified Manager のアップグレード

Active IQ Unified Managerリリース9.14または9.16からリリース9.18へのアップグレードのみ可能です。

アップグレード プロセスの実行中は、Unified Managerを使用できなくなります。実行中の処理がある場合は、Unified Managerをアップグレードする前に完了しておいてください。

Unified ManagerをOnCommand Workflow Automationのインスタンスとペアにして使用している環境では、両方の製品のソフトウェアで新しいバージョンを利用できる場合、2つの製品間の接続を解除してから各製品をアップグレードし、アップグレードの実行後にWorkflow Automationの接続を新たにセットアップする必要があります。いずれかの製品のみをアップグレードする場合は、アップグレード後にWorkflow Automationにログインし、Unified Managerからデータを取得していることを確認します。

お使いのシステムがUnified Manager 9.7からアップグレードされている場合、Debianバージョンのファイルシステムの変更により、9.14から9.18へ直接アップグレードすることはできません。代わりに、推奨されるアップグレードパスに従ってください：9.14 → 9.16P2 → 9.18。

手順

1. "Unified ManagerのISOイメージをダウンロードする"の手順に従います。
2. さらに、"Unified Managerをアップグレードする"に記載されている手順に従ってください。

Active IQ Unified Manager のバージョンに対してサポートされているアップグレードパスを使用してください

Active IQ Unified Managerでサポートされるアップグレード パスはバージョンごとに異なります。

すべてのバージョンのUnified Managerで、新しいバージョンへのインプレース アップグレードを実行できるわけではありません。Unified Managerのアップグレードは、N-2モデルに限定されています。つまり、すべてのプラットフォームにおいて、次の2つのリリースへのアップグレードしか実行できないということです。例えば、Unified Manager 9.14および9.16からUnified Manager 9.18へのアップグレードのみ可能です。

サポート対象よりも前のバージョンを実行している場合は、Unified Managerインスタンスをサポート対象のいずれかのバージョンにアップグレードしてから、最新のバージョンにアップグレードする必要があります。

たとえば、現在Unified Manager 9.9がインストールされていて、Unified Manager 9.14にアップグレードする場合、アップグレード手順は次のようになります。

アップグレード パスの例：

1. 9.11から9.13にアップグレードします。
2. 9.13から9.14にアップグレードします。

3. 9.13から9.16にアップグレードします。
4. 9.14または9.16 → 9.18へのアップグレード

アップグレードパスマトリックスの詳細については、こちら "ナレッジベース（KB）記事"を参照してください。

Active IQ Unified Manager アップグレードファイルのダウンロード

Unified Managerをアップグレードする前に、Unified Managerアップグレード ファイルをNetAppサポート サイトからダウンロードします。

開始する前に

NetAppサポート サイトのログイン クレデンシャルが必要です。

手順

1. NetAppサポート サイトにログインします。

   "NetAppサポート サイト"

2. VMware vSphereでUnified Managerをアップグレードするためのダウンロード ページに移動します。
3. アップグレード用の `.iso`イメージをダウンロードし、ご利用のvSphere Clientからアクセス可能なローカルディレクトリまたはネットワークディレクトリに保存します。
4. チェックサムをチェックして、ソフトウェアが正しくダウンロードされたことを確認します。

Active IQ Unified Manager 仮想アプライアンスのアップグレード

Active IQ Unified Manager仮想アプライアンスは、リリース9.14または9.16から9.18にアップグレードできます。

開始する前に

以下を確認してください。

- アップグレード ファイル、ISOイメージをNetAppサポート サイトからダウンロードしておく必要があります。
- Unified Managerをアップグレードするシステムがシステムとソフトウェアの要件を満たしている必要があります。

  "仮想インフラストラクチャの要件"を参照してください。

  "VMwareソフトウェアとインストールの要件"を参照してください。

- vSphere 6.5以降を使用している場合は、VMware Remote Console（VMRC）をインストール済みであること。
- アップグレードの実行中に、パフォーマンス データの保持期間について、以前のデフォルト設定であ

る13カ月のままにするか6カ月に変更するかを確認するプロンプトが表示されることがあります。変更を確認すると、6カ月を過ぎた過去のパフォーマンス データはパージされます。

- 次の情報を入手していること。
  - NetApp Support Site のログイン資格情報
  - VMware vCenter ServerおよびvSphere Web Clientにアクセスするためのクレデンシャル
  - Unified Managerメンテナンスユーザーの認証情報

アップグレード プロセスの実行中は、Unified Managerを使用できなくなります。実行中の処理がある場合は、Unified Managerをアップグレードする前に完了しておいてください。

Workflow AutomationとUnified Managerを連携させて使用している場合、Workflow Automationでホスト名を手動で更新する必要があります。

手順

1. vSphere Client で、「ホーム」>「インベントリ」>「VM とテンプレート」をクリックします。
2. Unified Manager仮想アプライアンスがインストールされている仮想マシン（VM）を選択します。
3. Unified Manager VM が実行されている場合は、「概要」>「コマンド」>「ゲストのシャットダウン」に移動します。
4. Unified Manager VMのバックアップ コピー（Snapshotやクローンなど）を作成して、アプリケーションと整合性のあるバックアップを作成します。
5. vSphere Clientで、Unified Manager VMの電源をオンにします。
6. VMware Remote Consoleを起動します。
7. 「CDROM」アイコンをクリックし、「Connect to Disk Image File (.iso)」を選択します。
8. `ActiveIQUnifiedManager-<version>-virtual-update.iso`ファイルを選択し、**Open** をクリックします。
9. 「コンソール」タブをクリックします。
10. Unified Managerメンテナンス コンソールにログインします。
11. メインメニューで、*アップグレード*を選択します。

    アップグレード プロセスの実行中はUnified Managerを使用できなくなり、完了後に再開されることを示すメッセージが表示されます。

12. タイプ `y`続けてください。

    仮想アプライアンスが配置されている仮想マシンをバックアップするように通知する警告が表示されます。

13. タイプ `y`続けてください。

    アップグレード プロセスが完了してUnified Managerサービスが再起動されるまでに数分かかることがあります。

14. いずれかのキーを押して次に進みます。

    メンテナンス コンソールから自動的にログアウトされます。

15. *オプション：*メンテナンスコンソールにログインし、Unified Managerのバージョンを確認します。

サポートされているWebブラウザの新しいウィンドウでWeb UIを起動し、アップグレード後のバージョンのUnified Managerにログインします。ただし、検出プロセスが完了まではUIでの作業を実行することはできません。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。